

まち・ひと・しごと創生 第3期 大鰐町総合戦略

概要版

1 総合戦略策定の背景

国は2014(平成26)年11月に人口急減・超高齢化というわが国が直面する大きな課題に対し、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。都道府県や市町村では、「まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)」第10条第1項に基づき、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定が努力義務となり、本町は2016(平成28)年3月に「大鰐町人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生大鰐町総合戦略」を策定しました。

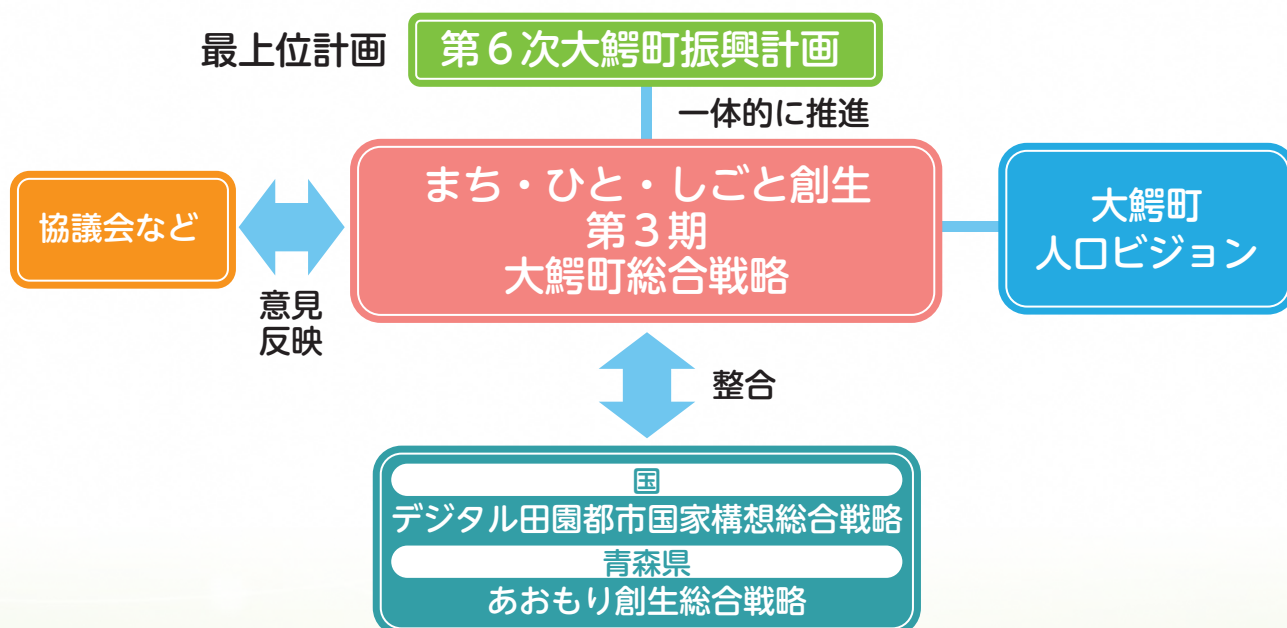
また、2020(令和2)年3月には「大鰐町人口ビジョン【改訂版】」と「まち・ひと・しごと創生第2期大鰐町総合戦略」を策定し、更なる人口減少対策に取り組んできました。

国は2022(令和4)年12月に、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、デジタル技術の活用によって社会課題の解決や地方の魅力向上を加速化することを目指して、誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

本町でも、これまでの取組の効果検証や国の方針を踏まえた上で、デジタルの力(DX)を活用して、地方創生はもとより地方活性化の充実・強化に取り組んでいくために、「まち・ひと・しごと創生第3期大鰐町総合戦略」を策定します。

2 大鰐町における総合戦略の位置づけ

2023(令和5)年に策定した「第6次大鰐町振興計画」を最上位計画とし、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」や青森県の「あおもり創生総合戦略」と整合性を図りながら、「まち・ひと・しごと創生第3期大鰐町総合戦略」を推進します。



3 人口ビジョンとの関係

人口ビジョンとは、各地方公共団体における人口の現状を分析し、将来の人口の展望を提示するものです。2020(令和2)年策定の「大鰐町人口ビジョン【改訂版】」では、2060(令和42)年の目標人口を示しており、本総合戦略策定の重要な基礎として位置付けられています。

2020年人口:8,665人
(総務省「国勢調査」)

総合戦略で人口減少を抑制

2060年目標人口:3,936人
(大鰐町人口ビジョン【改訂版】)

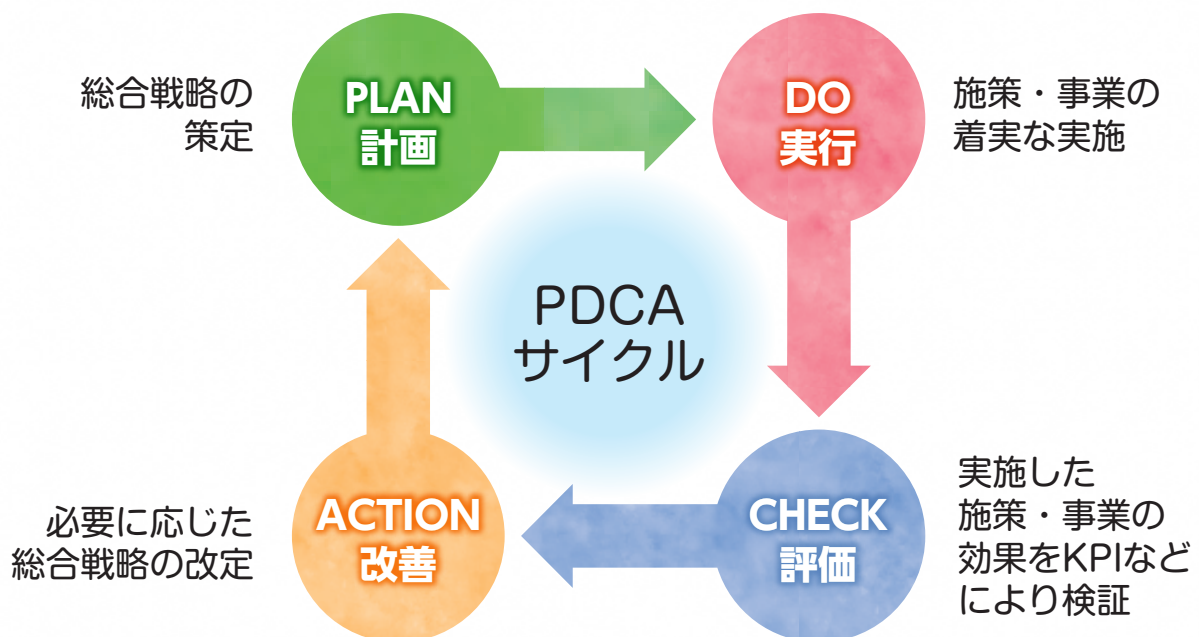
4 計画期間

2025(令和7)～2029(令和11)年度の5年間とします。

年 度	2023 令和5	2024 令和6	2025 令和7	2026 令和8	2027 令和9	2028 令和10	2029 令和11
第2期大鰐町総合戦略	2020年度～						
第3期大鰐町総合戦略			2025～2029年度				

5 推進・検証体制

本戦略では、基本目標ごとに数値目標を掲げ、具体的な施策等の着実な実施とその検証を行い、必要に応じて改善を行う仕組み(PDCAサイクル)を構築、実行します。



6 地域ビジョン(地域が目指す理想像)

本戦略の策定で踏まえるべき国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」では、地域が抱える社会課題の解決を図るため、自らの地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)を構築した上で、総合戦略に基づく具体的な地方活性化の取組を推進することが重要とされています。

わになって みんなポカポカ 大鰐町

大鰐町の地域ビジョンは上記のとおりで、地域共生社会の実現した状態を端的に表した言葉となっており、それぞれの言葉には以下の意味が込められています。

- ① “わ”になる。「輪」「和」の意味を含みつつ、「鰐」の音にもかけています。町の未来のために、一人ひとりつながって輪になろう、という想いを表しています。
- ② 誰ひとり置き去りにしないというSDGsの思想と、他人まかせではなく官民ともにという協働の思想を表しています。
- ③ ポカポカは「潤う」や「温まる」を象徴しています。町の資源である温泉やスキー場などのスポーツの熱、農業などの経済活動が潤沢に循環すること、人の心などを表しています。

7 基本目標

第2期総合戦略から継続して掲げている4つの基本目標に加えて、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」で示されたデジタル活用に関する基本目標を追加し、5つの基本目標を掲げています。各目標は“おおわに町”の文字を組み入れた名称としています。

基本目標 1

大鰐町における安定した雇用を支える“**お**しごと”の創出

基本目標 2

結婚・出産・子育てなど“**お**若い世代の希望”を実現

基本目標 3

大鰐町の魅力を高め“**わ**がふるさと”の創出

基本目標 4

新しいひとの流れによる“**に**ぎわい”の創出

基本目標 5

デジタルを活用して“**町**民の生活満足度”を高める

8 各基本目標の方針と数値目標

基本目標1 大鰐町における安定した雇用を支える“おしごと”の創出

基幹産業である農業の就業環境の充実を図るとともに、伝統産業の後継者育成による新たな就業の場の創出など、産業活性化による雇用の拡大を図ります。

数値目標 2030（令和12）年	認定農業者数 現状維持 （農林課調べ）【2023（令和5）年 137人】
	民営事業所従業者数 現状維持 （経済センサス調査）【2021（令和3）年 1,964人】

基本目標2 結婚・出産・子育てなど“お若い世代の希望”を実現

出会い・結婚・出産・子育てなどの切れ目のない子育て環境の充実に努め、若い世代への支援を強化するとともに、未来を担う子どもたちの「生きる力」を育成し、子どもたちが将来に夢と希望を持って成長できる環境づくりに取り組みます。

数値目標 2030（令和12）年	合計特殊出生率 現状より増加 （人口動態統計）【2020（令和2）年 1.24】
---------------------	---

基本目標3 大鰐町の魅力を高め“わがふるさと”の創出

誰もが住み慣れた地域で、みんなで支え合い、心身ともに健康で自分らしく安心して暮らすことができる「地域共生社会」を推進するとともに、ふるさとの魅力アップやふるさと教育を拡充し、定住性やふるさとへの回帰性を高めます。

数値目標 2030（令和12）年	町平均寿命の全国との格差 男女ともに縮小（市区町村別生命表）
	■男【2020（令和2）年2.1歳（町：79.4歳、国：81.5歳）】 ■女【2020（令和2）年2.0歳（町：85.6歳、国：87.6歳）】

基本目標4 新しいひとの流れによる“にぎわい”の創出

若者の住みよい住環境やU・Iターンを促進していくとともに、町の各種資源を最大限活用し、官民協働によるまちづくりの推進や国際交流を推進することで交流人口の拡大を図り、地域への波及効果を高めます。

数値目標 2030（令和12）年	純移動数（転入－転出） 現状より減少 （住民基本台帳）【2023（令和5）年 転出超過57人】
	宿泊客数 81,500人 （企画観光課調べ）【2023（令和5）年 69,080人】

基本目標5 デジタルを活用して“町民の生活満足度”を高める

様々な分野でデジタル技術を活用することで、利便性や生活の質を高め、町民の生活満足度を高めます。

数値目標 2030（令和12）年	町独自の電子申請可能数20件 （総務課調べ）【2023（令和5）年 10件】
---------------------	---

まち・ひと・しごと創生 第3期 大鰐町総合戦略 概要版

発行日：2025（令和7）年3月

発行者：大鰐町 〒038-0211 青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字羽黒館5番地3

電話：0172-55-6561

URL：<http://www.town.owani.lg.jp>